

一般港湾運送業における労働災害発生状況（1999-2022年）

一般港湾運送業 コードNo.050201

一般港湾運送業における事故の型別労働災害発生状況（1999-2022年）

事故の型	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
墜落・転落	34	25	26	24	32	28	28	21	22	29	10	17	17	16	16	12	19	13	26	20	18	16	15	15	499
転倒	14	13	12	11	7	7	8	7	12	9	7	5	10	15	10	11	3	7	10	10	6	8	17	8	227
激突	11	7	13	8	6	5	6	13	2	7	7	8	3	5	6	2	5	3	4	8	1	4	7	3	144
飛来・落下	19	13	10	7	15	7	7	5	6	8	5	4	6	3	7	5	7	4	3	9	7	5	4	4	170
崩壊・倒壊	6	4	2	4	2	8	2	3	2		2	1	2		2	2	2	1	3	4	2		2		56
激突され	19	16	7	11	17	11	8	7	5	10	4	3	7	6	5	2	2	5	4	7	1	2	5	7	171

溶接装置																									
炉、釜等																									
電気設備						1																		1	
人力機械工具等	5	2	1	2	4	1	3	4	1	3	4	1	1	1	1	1		1	1	2	3		1	3	46
用具	13	7	19	11	12	9	9	7	7	9	4	3	8	7	7	7	7	9	9	10	7	7	9	8	205
その他の装置、設備	4	2		1	2	1	2	3	3	1	1	2		2	3		1				1	1			30
仮設物、建築物等	11	15	12	11	20	14	14	13	10	8	9	18	15	9	10	10	11	10	12	16	4	15	12	10	289
危険物、有害物等			2				1		1	1	1						1							1	8
材料	19	13	10	10	15	11	15	4	12	8	6	4	9	6	6	6	4	9	8	6	15	1	2	3	202

走行集 材機械																									
架線集 材機械																									
その他 の車両 系林業 機械																		1						1	
クレー ン			1		2		4	1	2	5	3	2	5	6	3	4	2		3		1	2	4	3	53
移動式 クレー ン			5		5		1	2	2	1		1	1	1	1	1		4	1	2	1	1		31	
デリッ ク																									
エレ ベー タ、リ フト			1		1					1														3	
揚貨装 置			1		1							1	1		2	1			1	2		1		11	

の炉、 窯等																									
送配電 線等																									
電力設 備						1																		1	
その他 の電気 設備																									
人カク レーン 等													1								1	1	3		
人力運 搬機				4			1	2	2					1				1	1			2	14		
人力機 械							2																	2	
手工具			1			3	2		1	2	1	1	1				1	1	1	2				17	
はしご 等			7		2		2	1	1	3	1	2	5	3	1	3	4	1	3	5	3	2	3	3	55
玉掛用			2		3		2	1	2	1	2			1	2		1	2	2	2	2	1	2		28

具																									
その他 の用具			10		7		5	5	4	5	1	1	3	3	4	4	2	6	4	3	2	4	4	5	82
その他 の装 置、設 備					2		2	3	3	1	1	2		2	3		1			1	1				22
足場					2				1																3
支保工																									
階段、 栈橋			2		6		4	2	2		1	5	4	1	2	3	1	2	5	3	1	3	1	2	50
開口部							1		1		1	2	1	1					3	1		1			12
屋根、 はり、 もや、 けた、 合掌			1		1																				2
作業 床、歩 み板			4		1			4			1	4	2	1	1	2	4	2	3	1	1	1	2	2	36
通路			2		7		3	3	3	1	5	4	3	4	5	2	5	3	3	6		8	7	3	77

低温環境			1		1		1					2	1			1		2	1				1		11		
その他の環境等					1										2	1	1	1			1	1		1	1	1	12
その他の起因物			2						2		1					1	1			1	2	1	1	10		22	
起因物なし			3		3				2	1	2	1	6	10	5	2	2	1	1	4	1	2	2	4	2	54	
分類不能									1												1					2	
合計	146	120	108	101	125	104	87	86	88	90	58	67	79	72	70	56	56	51	76	72	66	58	80	54	1,970		

一般港湾運送業における年齢別労働災害発生状況（1999-2022年）

年齢	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
19歳以下	2	1		1	1	1		1	5	3	4	2		2	1	1	1		2	2	1	1	2	2	36
20歳-29歳	30	22	12	14	17	13	13	21	10	14	8	6	12	16	11	9	12	6	6	11	3	7	10	7	290

30歳-39歳	32	27	27	22	29	25	23	14	24	23	13	10	20	10	19	8	10	12	21	12	11	11	13	9	425
40歳-49歳	27	28	19	19	27	18	12	13	21	16	13	20	27	16	16	16	13	16	23	22	22	15	25	15	459
50歳-59歳	41	39	45	34	41	34	27	27	17	23	14	16	12	15	15	14	13	11	14	17	22	16	18	15	540
60歳以上	14	3	5	11	10	13	12	10	11	11	6	13	8	13	8	8	7	6	10	8	7	8	12	6	220
合計	146	120	108	101	125	104	87	86	88	90	58	67	79	72	70	56	56	51	76	72	66	58	80	54	1,970

一般港湾運送業における労働者規模別労働災害発生状況（1999-2022年）

労働者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
9人以下	13	13	3	16	12	16	11	11	5	13	6	7	8	6	4	8	8	5	8	7	5	6	7	4	202
10人-29人	33	28	32	28	39	22	23	25	27	22	16	25	18	19	26	16	16	15	21	18	19	13	12	16	529
30人以上	20	14	19	15	21	13	15	17	14	15	11	8	9	13	13	7	8	11	9	14	17	13	10	8	314

6月	10	11	10	7	9	9	12	9	10	6	3	7	8	5	4	3	4	6	8	6	6	6	6	7	172
7月	5	6	13	12	11	10	5	6	7	6	9	5	8	4	4	4	3	7	3	7	7	4	13	5	164
8月	9	11	10	7	8	4	4	6	7	6		9	6	7	7	4	2	2	4	4	7	4	8	4	140
9月	13	9	11	9	9	8	8	5	11	4	7	4	5	4	9	5	5	4	5	5	5	4	8	6	163
10月	11	10	10	10	16	8	6	7	13	7	5	3	4	3	7	5	5	4	4	6	5	4	9	4	166
11月	13	12	8	9	14	7	10	9	2	7	6	5	8	6	8	4	3	3	10	6	5	3	2	2	162
12月	11	9	4	4	8	13	10	6	6	4	5	5	9	10	1	4	5	7	10	6	2	5	7	7	158
合計	146	120	108	101	125	104	87	86	88	90	58	67	79	72	70	56	56	51	76	72	66	58	80	54	1,970

一般港湾運送業における都道府県別労働災害発生状況（1999-2022年）

県	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
北海道	5	5			8		6	3	1	2	5	2	9	5	7		5		5	6	6	10	13	6	109
青森	2		2		1				2	1		2				2			1	1					14
岩手	3	1	1													1			1						7
宮城	1		2		3		1	1		1	1				1	1			5	2	2				21
秋田	2									1												1			4
山形										1	1			1			1			1					5
福島												2	1				1		2				3	1	10

京都		1	1																					2	
大阪	27	26	18		35		19	19	18	19	14	15	13	11	15	11	5	5	2	8	5	4	2	10	301
兵庫	18	14	15		11		8	10	6	5	6	4	7	8	7	2	7	6	10	4	8	3	7	3	169
奈良																	1								1
和歌山	3	1	4		3		2		2	1	2		2		1	1							1		23
鳥取								1	1				1									1			4
島根																									
岡山	3	3	3		2			1	1			3		1				1	2	2	1	3		2	28
広島	3	3	5		1		3	1	5	2	2	4	4	2	3	2	3	1		6	3	1	1	1	56
山口	1	1			1		1									2		2	1			1	1		11
徳島		1	1				3												1						6
香川	2	4	4				4	3	2	3	1	3	1	3	5	2	1	4	6	2	5	3	3	6	67
愛媛	3	5	3		4		2	5	4	2	1	2		2	1	1	1	1				2	1		40
高知			2		2								1												5
福岡	5	5	3		4		2	3	6	2	4	5	6	10	4	4	3	6	5	8	7	5	15	3	115
佐賀	2	2	1		3		1	2	1	1		1		1	1	3									19
長崎	5	1	3		2					2	2		1		1	1				1	2		2	1	24
熊本	2							2									1			2					7

歳			1								1													2
50歳-59歳		1	1	1		1	2	1																7
60歳以上																								
合計		1	3	2	1	1	2	1		1		1	2		1		1	1	1	1	1			21

一般港湾運送業における死亡者規模別死亡災害発生状況（1999-2022年）

労働者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
9人以下				1																					1
10人-29人		1		1			1			1			1					1							6
30人-49人					1														1		1				3
50人-99人			3			1		1				1	1		1										8
100人-299人							1										1			1					3

300人以上																								
合計		1	3	2	1	1	2	1		1		1	2		1		1	1	1	1	1			21

一般港湾運送業における月別死亡災害発生状況（1999-2022年）

月	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計	
1月						1													1						2	
2月			2	1																						3
3月																										
4月		1	1										1		1		1									5
5月																		1								1
6月					1		1																			2
7月																				1						1
8月				1						1		1									1					4
9月																										
10月																										
11月																										
12月							1	1					1													3
合計		1	3	2	1	1	2	1		1		1	2		1		1	1	1	1	1				21	

山口																								
徳島																								
香川																								
愛媛							1																	1
高知																								
福岡																								
佐賀																								
長崎																								
熊本																								
大分																								
宮崎																								
鹿児島				1																				1
沖縄																								
合計		1	3	2	1	1	2	1		1		1	2		1		1	1	1	1	1			21

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

一般港湾運送業における死亡災害事例 (1999-2021年)

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事故 の型	労 働 者 規 模
2019	8	8 ～ 10	社用車を運転して東に向かって走行していたところ、左折しなければならない箇所を直進してしまったため、岸壁の車止めを越えて海へ転落したものの。	乗用車、 バス、バ イク	交通 事故 (道 路)	30 ～ 49
2018	7	8 ～ 9	埠頭に接岸した船倉で、岸壁に設置したクローラクレーン（つり上げ荷重150t）を用いて7本組にしたH型鋼（1本の長さ6m、重さ85キロ）を3束にまとめて荷揚げ作業中、吊上げていた鋼材が落下し、吊荷の下にいた被災者に当たり死亡した。	荷姿の物	飛 来・ 落下	100 ～ 299
2017	1	4 ～ 5	被災者は、港に舢舨を入港させる時、曳航ロープを短くする準備作業のため、舢舨のデッキ上を移動中、海に転落した。	その他の 乗物	おぼ れ	30 ～ 49
2016	5	18 ～ 19	副組長（加害者）は、最大荷重32tのスプレッダーリフトを運転し空のコンテナを移動するため荷を無積載の状態で1号倉庫事務所前からデバン作業エリアに向かって走行中、1号倉庫からデバン作業エリアに向かって移動中の被災者と接触し、スプレッダーリフトの左前輪に轢かれた。副組長は、被災者と接触したことに気付かずそのまま作業をしていたところ他の作業員が敷地内で服臥位の状態の被災者を発見した。	フォーク リフト	はさ まれ 巻き 込ま れ	10 ～ 29
		7		起因物な	その	100

2015	4	～ 8	うつ病と診断された休業中の労働者が自宅で自殺したもの。	し	他	～ 299
2013	4	8 ～ 9	ホッパーでフレコンに飼料を詰め込む作業を、労働者5名（うち職長2名）で実施していた。作業完了後、ホッパー内に余った飼料を除去するため、被災者が職長の運転するバケット付きフォークを誘導し、ホッパー下に配置。被災者がホッパーを開口。バケット内に山積みになる飼料でホッパーの口部が閉塞しないよう、職長が独自の判断でフォークリフトを運転しバケット位置をずらしたところ、被災者がバケットとホッパー架台の間に挟まれた。	フォーク リフト	はさ まれ 巻き 込ま れ	50 ～ 99
2011	12	10 ～ 11	倉庫内に保管されている500キログラムの肉骨粉が入っているフレコンバッグを倉庫の外にあるホッパーまでフォークリフトで運ぶためフォークリフトを降りて作業中、フォーク（爪）とフレコンバッグ上部に挟まれたものである。	フォーク リフト	はさ まれ 巻き 込ま れ	10 ～ 29
2011	4	11 ～ 12	被災者は同僚1名とショベルローダー（以下「ローダー」という。）で上屋4番口内にある粉状の肥料を上屋1番口に運搬する作業を行っていた。上屋4番口内で被災者はローダーのバケットを接地せず、エンジンをかけたままパーキングブレーキをかけた状態でローダーから降りていたところ、被災者が降りたローダーが動き出し、上屋の壁とバケットに挟まれたもの。挟まれている被災者を同僚が見つかり、病院に搬送されたが死亡した。	ローダー	激突 され	50 ～ 99
2010	8	18 ～ 19	埠頭に停泊中の外国船籍貨物船（長さ208m、幅32m、総t数3万7000t）内において、制限荷重70tの揚貨装置を用いて粉末鉱石を荷卸しする作業中、甲板上で倒れていた被災者を同僚労働者が発見したもの。被災者は、船倉の蓋上からタラップを使用せずに、揚貨装置のはしご等を伝って上甲板通路に降りようとした際、当該揚貨装置が動き出し、高さ2.9mの位置から上甲板通路に墜落し、死亡したとみられる。	揚貨装置	墜 落・ 転落	50 ～ 99
		13	倉庫でフォークリフトを使用して、輸入コンテナから荷姿状態の木材製品（約L3.9m、D1.1m、H1.2m、約2.3t）の取	その他の	崩	10

2008	8	～	り出し作業中、荷を7段に積み上げられたパレットに乗せ、フォークを引き抜いた時、パレット付近で荷の確認作業をしていた被災者の上に荷が崩れ落ちた。	用具	壊・倒壊	～	29
2006	12	9 ～ 10	事務所を出て、自社構内保税倉庫前を歩行中、倉庫内の原料パルプ（縦1590×横1700×高さ1640、約4t）を屋外に運び出していたフォークリフト（最大荷重7t、サイドクランプ型）にひかれ、荷の下に挟まれた。	フォークリフト	はさまれ 巻き込まれ	～	50 ～ 99
2005	6	16 ～ 17	トレーラートラックに鋼管（12トン）を積載し、工場構内を15kmの速度で走行中、交差点で左から来た別のトレーラートラックの後部に衝突した。	トラック	激突	～	100 ～ 299
2005	12	16 ～ 17	倉庫ヤード内で、荷積みが完了した輸出用海貨コンテナを別の場所に移動するため、コンテナを載せたトレーラーにトラクタを連結しようと、トラクタをバックさせたところ、トレーラーに貨物搬入票を挟み込んでいた被災者が、トラクタとトレーラーとの間に挟まれた。	トラック	激突 され	～	10 ～ 29
2004	1	9 ～ 10	前日より天井クレーンから異音がしていたため、被災者がガーダ上で点検作業を行っていたとき、クラブと配電盤に挟まれた。	クレーン	はさまれ 巻き込まれ	～	50 ～ 99
2003	6	9 ～ 10	サイロ建屋前のトラックのプラットホーム上を覆う金属トタン製屋根に取り付けられた雨どいの清掃・さび取り・さび止め塗装作業で、1階に置いてあったさび取りブラシ等の用具を取りに行くため3階部分の窓の方に移動中に、明かり窓（0.95m×0.95m、厚さ6mmのガラスはめ込み）の上に乗ったため窓が割れて高さ約8mのところから墜落した。	屋根、はり、もや、け	墜落・転落	～	30 ～ 49

				た、合掌		
2002	8	0 ～ 1	石油会社の構内において、20 tトレーラーで運ばれてきたコンテナ内の「白土」の袋（20 k g）をフォークリフトで倉庫へ移動させる作業中、急に気分が悪くなったので救急車で病院に移送したが死亡した。	高温・低温環境	高温・低温物との接触	10 ～ 29
2002	2	0 ～ 1	貯木場内の材木を徒歩により確認する作業中、水深2.6m、水温0度、氷の厚さ4～10cmの貯木場に転落し水死した。	その他の仮設物、建築物、構築物等	おぼれ	1～ 9
2001	4	21 ～ 22	曳航ボートで穀類(約250t)を積載した舢舨(はしけ)を曳航中に、舢舨に乗っていた者が海上に墜落して、溺死した。	その他の乗物	墜落・転落	50 ～ 99
2001	2	9 ～ 10	岸壁に接岸した船の第2ハッチの船倉内で、建築用材木の束を荷揚げするため材木にスリングを掛けて浮かそうとしたときに、隣の下2段は空段にして6段に積まれていた材木の束が滑り落ち、5、6段目の材木が直撃した。	荷姿の物	飛来・落下	50 ～ 99
2001	2	8 ～ 9	トラックターミナルの屋根の雪下ろし作業中、ターミナル内にトラックが入っていないかを確認しようとして、屋根の雪を下に落とすために敷いてあった塩ビ波板(プラスチック製)に足を乗せてしまったため、足が滑り高さ約7mの軒先から地面に墜落した。	屋根、はり、もや、けた、合掌	墜落・転落	50 ～ 99

2000	4	11 ～ 12	海上コンテナから木製部材(板状)の束をフォークリフトで積み出していたときに、コンテナ付近に立っていた者が倒れてきた荷に腰から下部を挟まれた。	荷姿の物	激突 され	10 ～ 29
------	---	---------------	--	------	----------	---------------

2021年、2020年の事例は新型コロナ罹患を含む。2011年の事例は東日本大震災による労働災害を含まない。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。